



2019年2月7日

報道関係各位

昭和女子大学  
東武鉄道株式会社

**外国人留学生が日本のホスピタリティと観光から文化を学ぶ  
昭和女子大学と東武鉄道が協働で観光型インターンシップを実施**

昭和女子大学（東京都世田谷区）と、東武鉄道（東京都墨田区）は、東武沿線の観光地である日光市や川越市と協力して、産学共同で外国人留学生向け観光型インターンシッププログラムを企画・実施します。

5日間のプログラムで、昭和女子大学の留学生8人が参加し、日頃多くのお客さまをご案内している東武鉄道において日本ならではのホスピタリティや接客を学び、実際にインフォメーションセンターや駅窓口等において案内業務を体験します。また、沿線の観光地である栃木県日光市や埼玉県川越市等を訪問し、外国人目線で捉えた地域の魅力や課題について、自治体関係者と意見交換するのが特長です。

このインターンシップで昭和女子大学の留学生は、企業でコミュニケーションを実践する機会を持ち、観光地の視察で日本の文化・歴史・伝統などに直接触れ、理解を深めることができます。

また、東武鉄道が大学と連携して留学生のインターンシップを受け入れるのは初めてで、外国人目線で捉えた地域の魅力や課題を把握し、現在積極的に推進しているインバウンド施策に反映させます。さらに、留学生にSNS等で沿線や日本文化の魅力を発信してもらいます。

今年は夏にも同様のプログラムを計画しています。

概要は別紙のとおりです。



日光東照宮 陽明門（日光市）



時の鐘（川越市）

<別紙>

産学共同 外国人留学生向け観光型インターンシッププログラム 概要

1 期間

2019年2月13日(水)~17日(日)の5日間

2 対象者

昭和女子大学に在籍する外国人留学生8人(国籍：中国・韓国・ベトナム・ロシア・ポーランド)

3 方法

浅草・日光チームと池袋・川越・小川町チームに分かれ、駅における案内業務体験や観光地視察を実施

4 内容

(1) 浅草・日光チーム

- ・東武鉄道によるホスピタリティ研修
- ・浅草駅のご案内カウンターや観光インフォメーションセンターにおける業務体験
- ・日光・鬼怒川エリアの観光地視察（鬼怒川温泉まち歩きツアー、日光の社寺、中禅寺湖等）
- ・日光市観光協会担当者との意見交換会

(2) 池袋・川越・小川町チーム

- ・東武鉄道によるホスピタリティ研修
- ・池袋駅の窓口や観光インフォメーションセンター、川越駅の川越市観光案内所における業務体験
- ・川越エリア・小川町エリアの観光地視察（川越市街、和紙漉き体験、酒蔵見学等）
- ・川越市役所担当者との意見交換会

以上